

(21) 飛州高山より各方位里程図 (第 30 図)

年代 文政 8 年(1825)

端書にある駄賃の高札写は天和 2 年(1682)8 月日

寸法 55×79(西を上にして)

所蔵 金沢市立玉川図書館近世史料館(095— 33—9②)

第 30 図は、富山から高山、名古屋や小諸などに至る街道宿次図である。富山から越中東街道は、東笹津、牛ヶ増、芦生、今生津、布尾、町長、寺津、吉野、伏木、舟渡、東猪谷、以下飛騨へと続く。富山から越中中、西街道は、三戸田、長沢、城尾、西笹津、岩稲瀬、楡原、庵谷、片掛、西猪谷、蟹寺とある。蟹寺から越中中街道は籠の渡しで谷村へ渡るが、谷村の表示がない。

蟹寺から越中西街道は加賀沢、小豆沢、杉原、小野、戸谷村、打保村、三河原と続き、そのまま左岸を角川へ進む道と、船で渡り、牧戸、野首、岸奥、落合、大無雁、ケサ丸へと進む。

高山からは平湯越えで松本、小諸へ、また野麦越えで藪原への道が記される。また、南方向へは下呂から中津川へ、下呂から川辺、太田への道が記される。又、郡上方面はナラ谷、坂本峠越えが記され、また、荘川、白川村を経て赤尾方面も記される。富山から飛騨国、そして中山道へと通ずる街道と在所がわかりやすく記されている絵図である。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。